

公開・非公開の別

■公開 □部分公開

□非公開

令和3年度 第1回 浜松市上下水道事業経営アドバイザー会議 議事要旨

1 開催日時 令和3年8月25日（水）午前9時30分～午前11時30分

2 開催場所 上下水道部住吉庁舎第1・2会議室

3 出席状況 委員 土居 英二（静岡大学 名誉教授）
田中 範雄（公認会計士・税理士）
村松 奈緒美（弁護士）
神谷 武彦（浜松商工会議所工業部会）
山下 純乃（浜松ホテル旅館協同組合女性部長）
岡田 正利（浜松市自治会連合会環境部会委員長）
佐々木 数馬（旧民営簡易水道管理者）
野中 正子（浜松市消費者団体連絡会会長）

事務局 浜松市上下水道部上下水道総務課

※土居委員、田中委員、村松委員、神谷委員、山下委員、野中委員
は Zoom による参加

4 傍聴者 2人（一般：0人、記者：2人）

5 議事内容 （1）浜松市水道事業及び下水道事業管理者挨拶
（2）委員紹介
（3）議事
① 水道事業アセットマネジメント計画の説明
② 下水道事業アセットマネジメント計画の説明

6 会議録作成者 上下水道総務課経営戦略グループ 萩原

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音有

8 会議記録

開 会

(3) 議 事

① 浜松市水道事業アセットマネジメント計画について

事 務 局…… 資料 2-1、2-2、2-3 に基づき説明

(水道工事課 河村副技監、上下水道総務課 安藤副技監)

浜松市情報公開条例第 7 条 (5) に基づき、資料 2-1 を非公開
以下、質疑応答

土居委員…… 3 点質問がある。

本アセットマネジメント計画を作成するにあたり、浜松市の将来人口を根拠に作成した部分があると思われるが、将来人口とは「浜松市やらまいか人口ビジョン」で述べる人口数及び世帯数のことでよいか。

浜松市の水道料金は、県内の市町村又は全国の政令市と比べたとき、どのような水準であるか。

令和 3 年度と比較して、令和 4 5 年度は水道料金を何倍に引き上げることになるか。

事 務 局…… 1 点目について、将来人口は、令和 2 年度に改定された「浜松市やらまいか人口ビジョン」の人口推定値を採用している。

土居委員…… 「浜松市やらまいか人口ビジョン」は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推定人口を基に人口流出防止や移住促進の施策を行った後の目標値であるはず。よって、社人研の将来推定人口より上の数字となっている。給水人口を正確に予測するためには、社人研の将来推定人口の数字を根拠とした方がよいと考える。

事 務 局…… 「浜松市やらまいか人口ビジョン」は、出生と死亡については社人研の数値を、異動については過去数年間の住民基本台帳の履歴を基に算出していると理解している。

土居委員…… 異動による人口の増減が甘めに出ている部分があるので、その部分を踏まえ、厳しい人口予測によるシミュレーションを行ってはどうか。

事 務 局…… 貴重なご意見として、参考にさせていただく。

事 務 局…… 2 点目の水道料金について、政令市の中では下から 2 番目である。

3 点目の令和 4 5 年度に必要な収益は、令和 3 年度と比較しておおむね 60% 程度上昇するのではないかと予測している。

山下委員・・・ 現状コロナ禍において、旅館を含め業者全体が厳しい経営状況である。水道事業の経営状況を鑑みると、ある程度の水道料金の値上げは致し方ないと思われるが、値上げ幅を抑えるための経営努力や経営の合理化を市としてはどのような方針で取り組むか。

(水道事業のコンセッションについて) 前回住民からの反対されたことについては、如何か。

事務局・・・ 今回シミュレーション結果に基づき収益の想定を示したが、実際の料金改定にあたっては、更に精緻な解析が必要となるため、あくまで暫定的な予測値を申し上げたことをご理解いただきたい。

経営努力として、水道ビジョンの実行計画である経営プラン内の各項目を達成する所存である。そのために、毎年度達成度を確認している。

また、現行の水道ビジョンは令和6年度までとなっており、改定の際には、上下水道部の方針を改めて示す必要があると考えている

水道のコンセッションについては、今回のアセットマネジメント計画に加味されていない。

野中委員・・・ 本計画の中で、自己水源の再利用が記載されている。現状、平口水源は使用されていないが、使用停止となった理由と、再利用する意図を改めて教えていただきたい。また、水源を再利用することで財政シミュレーションに変化はあるのか。

事務局・・・ 平口水源は、過去に硝酸態窒素が検出され、5井のうち3井を平成23年から停止している。残りの2井については、現在も大原浄水場に導水している。

再利用する意図としては、配水区域の再編にあたり効率的な取水及び配水を達成するために、使用可能な水源を再調査して、可能であれば使用したいという考えである。

野中委員・・・ 過去、消費者団体から、平口水源から硝酸態窒素が検出されたと報告した経緯がある。硝酸態窒素が検出されたのは、平口水源の5井のうち1井であった。消費者団体の調査でも、現在は検出される量が少なくなっており、そのことを考慮して再利用を検討していることが今回の説明でわかった。

田中委員・・・ 浜松市の水道料金は政令市の中で下から2番目ということであるが、管路延長や老朽化率、財政的な指標の収支状況や企業債残高などについて、静岡市やその他の市との比較データがあれば、より浜松市の状況を理解しやすいので、ご提供いただきたい。

- 事務局… 次回会議までに用意させていただく。
- 土居委員… 本計画の中で、人口減少に伴う施設のダウンサイズによる費用の削減を見込んでいるが、将来的に人が住まなくなる地域への配水及び配水設備についてはどのように考えているか。
- 事務局… 本計画は、全体の人口減少率を基にしている。現在、住民の方々が住んでいる地域が将来人口ゼロになるという想定はしていない。
- 土居委員… 個人的な意見として、集落がなくなる地域が発生するのではないかと予測している。地域ごとの減少率も踏まえた計画を検討して頂きたい。

② 浜松市下水道事業アセットマネジメント計画について

- 事務局… 資料3-1、3-2、3-3に基づき説明
(下水道工事課 鈴木次長、下水道工事課 木村主任、
上下水道総務課 安藤副技監)
浜松市情報公開条例第7条(5)に基づき、資料3-1を非公開
以下、質疑応答

- 田中委員… 企業債残高は上下水道合計でどのくらいか。また、利息はどのくらいか。
- 事務局… 企業債残高は水道事業で令和元年度246億円、下水道事業で令和元年度1510億円。利息については改めてお伝えする。
- 佐々木委員… 旧春野町のときに、春野町の気田、熊切、和泉を順次下水道整備していくという計画があり、その後とん挫したが、今の計画では同様の計画があるか。
- 事務局… 春野町の計画を引き継いでいるが、いまのところ計画はない。
- 山下委員… (平成30年に浜松市の下水道事業でコンセッションが開始されたことを踏まえ、)水道事業においても民間委託が必要になるのではないかと考える。
また、水道事業の普及率が90%を超える社会的インフラであることを考慮すると、一般会計で負担する部分を増やしてもよいのではないかと考える。
地方公営企業が、原則として独立採算で事業運営しなければならないことは承知しているが、一般会計から水道事業会計に繰り入れる方法はないのか。他都市での事例はどうか。

事務局・・・ 地方公営企業が一般会計から繰り入れることのできる項目は、法律上決まっている。

それ以外の項目で繰り入れることは通常想定されないが、念のため水道事業について他都市の事例について調査する。

村松委員・・・ 遊休地の売却等の営業外収益は、アセットマネジメント計画や料金改定を検討する際に考慮すべき内容か否か教えてほしい。また、営業外収益を得る施策を積極的に行っているか。

事務局・・・ 遊休地の売却は順次進めている。ただし、金額については営業収益からすると微々たるもののため、本計画に影響を与えるものではないと考えている。

土居委員・・・ 下水道事業の拡張事業費が618億円計上されているのは、新しい排水管布設の需要を見込んでのものか。

事務局・・・ 下水道事業では計画区域を定めており、計画区域内の整備を完了するまでの今後数年間は拡張工事が必要である。

ただし、計画区域を現行以上に拡大する予定はない。

土居委員・・・ 浜松市の人口が減少していくなか、下水道管を廃止していく考えはあるか。

事務局・・・ 下水道管の撤去費用は布設よりも高額となる。現状、撤去を積極的に進めることは考えていないため、撤去費を本計画に反映させてはいない。

土居委員・・・ 集落としては減っていくはずなので、本計画においても集落ベースの人口予測を参考にさせていただきたい。

村松委員・・・ 今後、地域の将来人口予測を踏まえ、地域ごとに優先度を設けて、効果的に保全を実施していくという考えはあるか。

事務局・・・ 計画域内であっても、非効率的であると判断した部分については既に事業を行っていない。

その他連絡事項

事務局・・・ 次回の開催までにアセットマネジメント計画について質問があれば事務局までご連絡いただきたい。

閉会